

スジグロシロチョウ

Pieris melete

種名



分類	シロチョウ科												
形態	前翅長 24～35mm。前種よりたいてい大型、黒斑が発達するが、例外も多いので、慎重に判断しなければならない。ときには前種と雑交して、中間的な形態をもつことがある。												
分布	北海道、本州、四国、九州。												
出現期	本州では4月上旬から羽化を始め、10月まで年2～3回の発生。前種より1週間ほど遅れて現れる。寒冷地では年1～2回。蛹で越冬する。												
生態	前種より飛び方はややゆるやか。おもに林縁、溪流沿いで見られ、やや暗い湿った環境に棲むことが多い。東京都内では、栽培植物などを食草として、モンシロチョウより増えることもある。ダイコン、アザミ類などで吸蜜し、 は湿地で吸水する。												
食樹	アブラナ科のコンロンソウ、タネツケバナ、イヌガラシ、ワサビなど。フウチョウソウ科のセイヨウフウチョウソウも食べる。												
幼虫 (幼生期)	体長30mm。濃い青緑色で、前種とよく似る。体側に黄色斑がある。												
出現時期	(月)	-	-	-	4	5	6	7	8	9	10	-	-
その他													
参考文献：検索入門 渡辺康之著 チョウ													